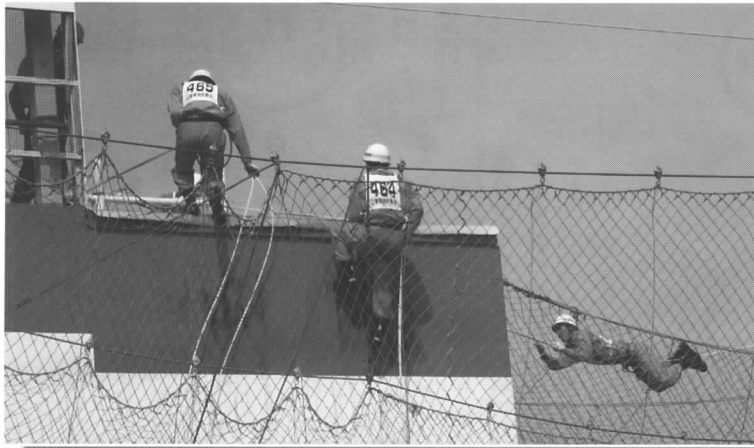


広報 峡北

平成 22年 9月号 発行

発行所 峡北広域行政事務組合
山梨県韮崎市本町四丁目 9-48
☎ 0551-22-3311 編集/総務課



2010年度 全国統一防火標語

「消したかな」
あなたを守る
合言葉



7月14日、神奈川県厚木市での
第39回消防救助技術関東指導会に
山梨県代表として出場しました

No. **31**

平成22年度当初予算額

36 億 4206万円

峡北広域行政事務組合告示第2号

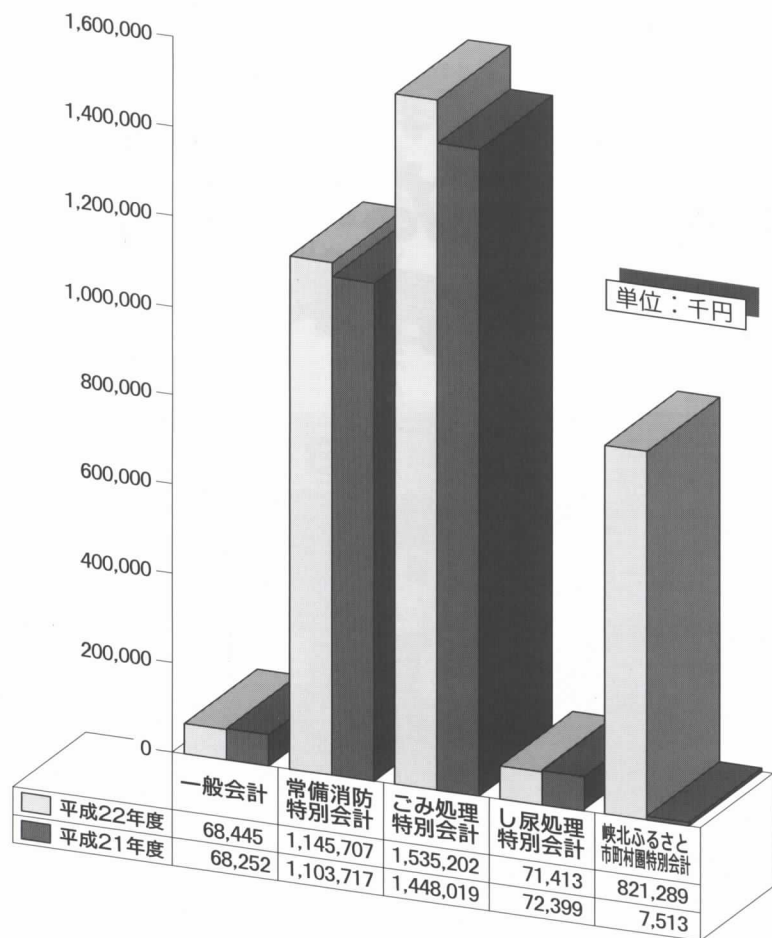
地方自治法第243条の3並びに峡北広域行政事務組合財政公表条例に基づき、峡北広域行政事務組合の財政状況を次のとおり公表する。

平成22年6月23日 峡北広域行政事務組合 代表理事 横内 公明

財政事情の公表

平成22年度峡北広域行政事務組合当初予算が3月定例議会において可決されました。

当組合の財政は、一般会計とそれぞれの目的に応じた4つの特別会計で構成されており、一部の使用料・手数料を除き、そのほとんどが関係市からの負担金でまかなわれています。



● 一般会計

組合全体の運営や各部門の調整また峡北地域の経済を活性化するための経費です。

● し尿処理特別会計

し尿を浄化処理するための経費及び、その施設の維持管理のための経費です。

● 常備消防特別会計

消防車や救急車の運行、また防火・防災に要する経費です。

● 峡北ふるさと市町村圏特別会計

峡北広域市町村圏の創造的かつ一体的な振興整備に関する経費です。

● ごみ処理特別会計

可燃物や不燃物、リサイクル施設などを処理するための経費及び、その施設の維持管理のための経費です。

平成21年度 予算執行状況

平成22年3月31日現在(単位:千円)

会計名	収入済額	支出済額	差引額
一般会計	72,560	63,170	9,390
常備消防特別会計	1,162,195	1,007,764	154,431
ごみ処理特別会計	1,339,184	1,239,632	99,552
し尿処理特別会計	74,454	57,985	16,469
峡北ふるさと市町村圏特別会計	8,711	4,665	4,046
合計	2,657,104	2,373,216	283,888

『平成21年中』

峡北消防本部管内の

火災と救急

火災

H20年 67件 
 H21年 89件 

救急

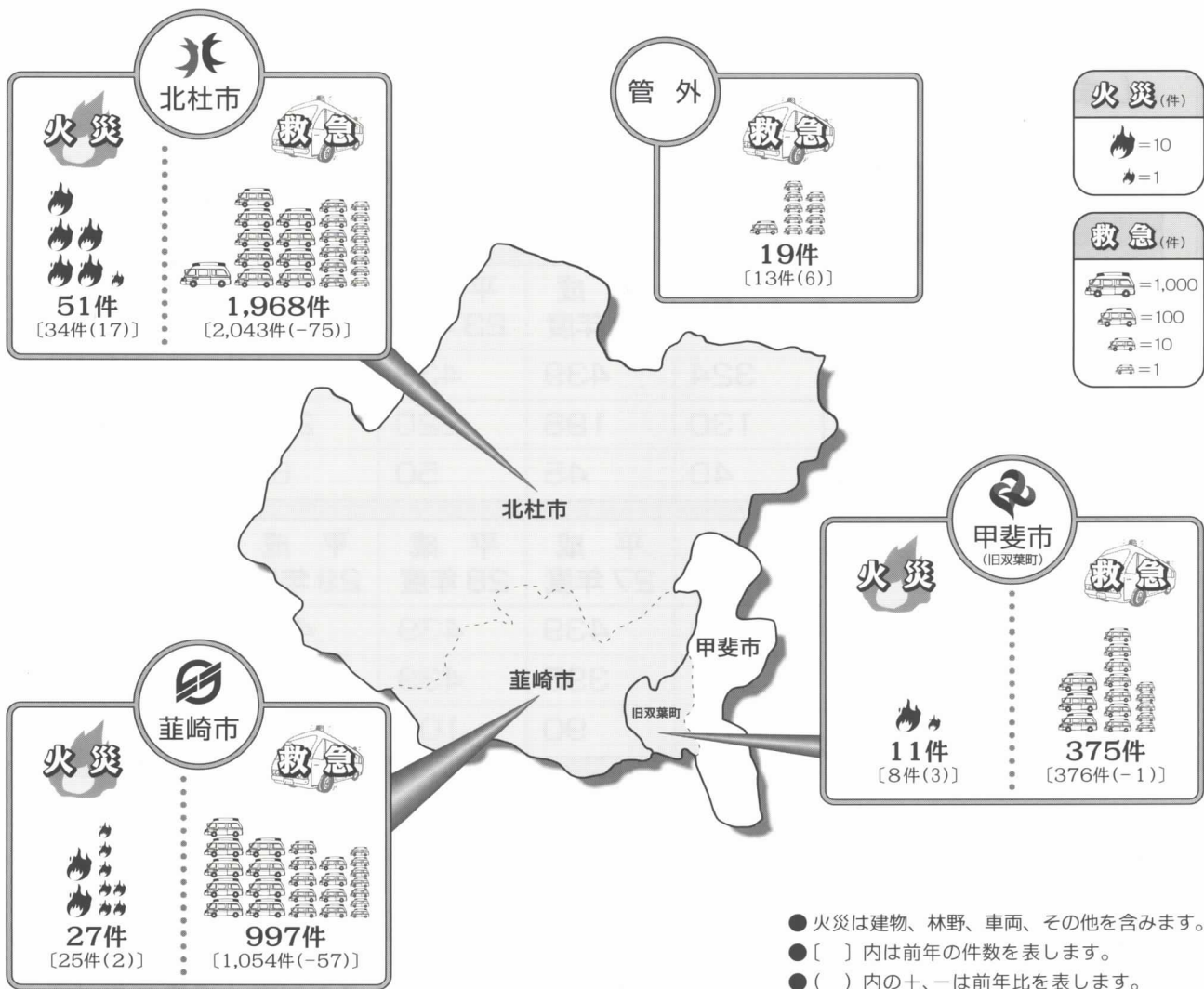
H20年 3,486件 
 H21年 3,359件 

出火原因

第1位 放火及び放火の疑い

事故種別

第1位 急病



平成21年中 火災発生状況・救急活動状況

平成21年中の総出火件数は89件で、前年と比較しまして22件(33%)の増となっており、これを一ヶ月当たり7.4件の火災が発生したことになります。

火災種別件数の最も多いものは、その他火災(道路、空地、土手及び河川敷の枯草等の火災)の37件で、次いで建物火災の31件、林野火災の11件、車両火災の10件となっています。

平成21年中の救急業務の実施状況は、救急出動件数が3,359件、搬送人員が3,198人で、前年に比べ出動件数においては127件(△3.6%)減り、搬送人員においては49人(△1.5%)減りました。これを1日平均にすると出動件数9.2件、搬送人員8.8人となり1年間では、管内人口の30人に1人が搬送されたこととなります。

！ エコパークたつおか (峡北広域環境衛生センター) からのお知らせ ！

峡北広域行政事務組合（峡北広域環境衛生センター）で、可燃ごみ処理施設の性能確認調査を行いました。その結果、不具合はあるものの、瑕疵（かし）は定義づけできないというものでした。

しかし、維持管理費の数値は、設計時と稼動時の乖離（かいり）が大きいことから製造メーカーである三井造船株式会社と交渉を重ねてきた結果、平成21年度から29年度までの保守点検費用及び施設で使用する灯油の当組合の負担割合が決定しましたので公表いたします。

◎保守点検費の負担について

単位：百万円

年 度	平 成 21年度	平 成 22年度	平 成 23年度	平 成 24年度	平 成 25年度
経 費 の 見 込 み	324	439	439	439	439
組 合 負 担 額	130	198	220	263	307
組合負担割合(%)	40	45	50	60	70

年 度	平 成 26年度	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29年度
経 費 の 見 込 み	439	439	439	439
組 合 負 担 額	351	395	439	439
組合負担割合(%)	80	90	100	100

上基金額には、消費税は含まれていません。

◎灯油の負担について

単位：KL/年

年 度	平 成 21年度	平 成 22年度	平 成 23年度	平 成 24年度	平 成 25年度
灯油使用量予想	1020	1020	1020	1020	1020
組 合 負 担 量	240	310	380	450	520

年 度	平 成 26年度	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29年度
灯油使用量予想	1020	1020	1020	1020
組 合 負 担 量	590	660	700	700



可燃ごみの中に金属類の
物が入り込むため、
運転が止まってしまいます！

また、皆様から出されるごみの分別が未だに徹底されておらず、可燃ごみの中に金属製の針金状のものが入り込み、施設内で絡まり運転に支障が出るため緊急停止を余儀なくされています。施設の再起動のためには大量の灯油が必要になり、多額の経費が掛かります。

住民の皆様にはお住まいの市から配布される、ごみの分別マニュアルや収集カレンダーに添ってごみの分別及び減量化に努めていただきますようお願いいたします。

紹介します。

事業系のごみを搬入する業者が共同して活動している団体があります。その名は、『峡北広域廃棄物協力会』といえます。

では、この施設のために、どのようなことをしているのか紹介します。その内容は、施設周辺等の清掃を定期的に行っていて、なかでも、毎年10月に実施している搬入路周辺の清掃は、約40人の会員が参加しています。その姿に職員は、頭が下がる思いです。このように、施設及びその周辺をいつもきれいに保つために協力していただいている団体です。最後に構成市民の皆様へ、これからも『エコパークたつおか』と『峡北広域廃棄物協力会』をどうかよろしくお願いいたします。

ごみ処理施設では県内初めての「管理調査検討委員会」(第3者委員会)を設置しました

峡北広域環境衛生センター(エコパークたつおか)では、可燃施設の維持管理費及び保守点検費用が適正に執行されているかをチェックするため、有職者や市民らの協力を得て、「管理調査検討委員会」を設置し、6月24日、同センターで初会合を開きました。

横内公明代表理事より委員に委嘱状を交付し、山梨大学大学院の竹内智教授を委員長に選出しました。

検討委員会は年3〜4回開く予定で、次回は9月下旬に開く予定です。

委員については、次の4名です。()内は役職等です。

竹内 智委員長

(山梨大学大学院教授)

伊藤紀元 副委員長

(韮崎市環境審議委員会会長)

小澤弘幸 委員

(北杜市環境審議委員会会長)

今村正城 委員

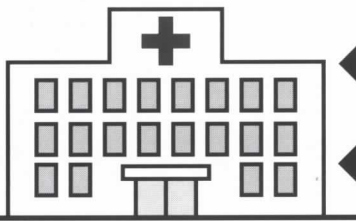
(元甲斐市市議会議員)

峡北広域行政事務組合からお知らせ

救急医療を必要とする人がいます!

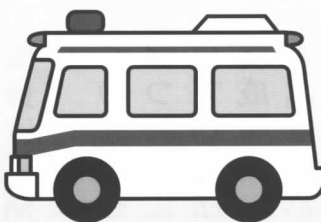


夜は空いているから



日中は仕事で忙しいから

救急車は早く病院に着けるから



タクシーはお金がかかるから

救急車・救急病院の

適正利用にご協力ください。

① 昼間の診療時間内に受診しましょう

② 1かかりつけ医を持ちましょう

③ 本当に必要なときには救急車や救急医療機関を利用しましょう

下記の電話番号で
夜間・休日の救急当番病院が紹介されます。

葦崎市・北杜市・甲斐市(双葉地区)の方

峡北消防本部

〇五五一一二二一八一

又は

〇五五一一二二一〇一九

甲種防火管理新規講習会を開催します。

当消防本部では平成22年度の資格付与講習会を次のとおり行います。
(甲種防火管理新規講習会)

☆講習会 平成22年11月10日(水)～11日(木)

☆会場 所 峡北広域環境衛生センター
(エコパークたつおか)

葦崎市龍岡町下條南割1895

☆申込み受付 平成22年10月18日(月)～22日(金)

午前9時～午後5時までの間、消防本部二階「予防課」で受付します。

なお、峡北地域在住の方、事業所にお勤めの方を優先させて頂き、18日、19日については峡北消防本部管内に居住または勤務する方(勤務予定者を含む)のみとさせて頂きます。
定員は70名ですので、定員になり次第締め切らせて頂きます。

☆テキスト代 三千八百円

※願書は、当消防本部のホームページからダウンロードできる他、当消防本部管内の消防署、分署、分遣所にも準備してあります。(郵送による申込みは不可)

■ 次のような建物においては、防火管理者を委任しなければなりません。

○ 百貨店、旅館、病院など(特定用途)で延べ面積が三〇〇㎡以上で収容人員30人以上のもの

○ 共同住宅、学校、工場、事務所など(非特定用途)で延べ面積が五〇〇㎡以上で収容人員50人以上のもの

● 現在防火管理者を選任している事業所等においては人事異動等を考慮し、この機会に受講してください。

